

2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月27日

上場会社名 東洋機械金属株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6210 URL <https://www.toyo-mm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田畑 禎章
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 酒井 雅人 (TEL) (078)942-2345
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 2021年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	15,876	62.3	718	—	801	—	449	—
2021年3月期第2四半期	9,785	△42.6	△531	—	△484	—	△439	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 730百万円 (—%) 2021年3月期第2四半期 △511百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	21.86	—
2021年3月期第2四半期	△21.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	29,940	18,792	61.8
2021年3月期	28,573	18,158	62.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 18,501百万円 2021年3月期 17,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2022年3月期	—	7.50	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	20.6	1,200	—	1,250	—	850	—	41.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
 新規 ー 社（社名） 、除外 ー 社（社名） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	20,703,000株	2021年3月期	20,703,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	188,910株	2021年3月期	122,238株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	20,552,213株	2021年3月期2Q	20,586,165株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から大幅なマイナス成長となりましたが、ワクチン接種率の増加に伴い、回復の兆しが見えております。わが国経済におきましては、段階的な経済活動の再開やワクチン接種の普及などの明るい兆しも見えてきておりますが、製造業では半導体部品を始めとする一部の製造部品の不足により、生産活動が停滞するといった悪影響が顕在化してきており、先行きは不透明な状況で推移しました。

当社の事業に関連する業界におきましては、部品調達が不安定ではありますが、国内の設備投資は、回復基調で推移しました。また、海外では中国をはじめ、アジア、米国、欧州で需要は回復しました。

このような市場環境のもと、当社グループは2024年3月期を最終年度とする第3期中期経営計画を策定し、経営管理基盤と人材育成の仕組みを再構築し、コーポレートガバナンス体制の更なる強化を進める経営基盤の刷新と強化に取り組んでおります。また、自社・顧客・社会が持続的に成長できる仕組みと体制を整備する持続的成長に向けた事業活動を推進し、収益構造の改善に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は17,941百万円(前年同四半期比67.7%増)、売上高は15,876百万円(同62.3%増)となりました。このうち、国内売上高は3,629百万円(同21.3%増)、海外売上高は12,247百万円(同80.3%増)となり、海外比率は77.1%となりました。

利益につきましては、売上が回復したことから、営業利益は718百万円(前年同四半期は営業損失531百万円)、経常利益は801百万円(前年同四半期は経常損失484百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は449百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失439百万円)となりました。

製品別の売上の状況は、以下の通りです。

[射出成形機]

射出成形機につきましては、国内は雑貨や容器類などの生活用品や医療機器関連が増加しました。また、海外におきましては、中国でのIT電子機器や医療機器関連の小型機が増加しました。また、アジアでの自動車関連や欧州における生活用品関連の中大型機が増加しました。その結果、売上高は12,616百万円(前年同四半期比68.9%増)となりました。

[ダイカストマシン]

ダイカストマシンにつきましては、国内は自動車関連の需要は回復し増加しました。海外におきましては、中国やアジアで自動車関連が増加しました。その結果、売上高は3,260百万円(前年同四半期比40.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,726百万円増加しました。これは、主にたな卸資産の増加1,111百万円及び売上債権の増加610百万円があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて358百万円減少しました。これは、主に有形固定資産の減少171百万円及び繰延税金資産の減少122百万円があったことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて907百万円増加しました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金の減少100百万円があったものの、仕入債務の増加920百万円があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて174百万円減少しました。これは、主に長期借入金から1年内返済予定の長期借入金への振替による減少100百万円及び退職給付に係る負債の減少74百万円があったことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて634百万円増加しました。これは、主に配当を行ったことによる利益剰余金の減少102百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加449百万円及び為替換算調整勘定の増加226百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期連結業績予想につきましては、2021年4月26日に公表した予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,183	7,165
受取手形及び売掛金	4,680	5,029
電子記録債権	1,109	1,370
商品及び製品	2,342	2,901
仕掛品	2,544	2,848
原材料及び貯蔵品	455	702
その他	1,202	1,225
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	19,511	21,237
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,153	4,095
機械装置及び運搬具（純額）	1,829	1,727
工具、器具及び備品（純額）	124	106
土地	780	780
リース資産（純額）	1	1
建設仮勘定	2	11
有形固定資産合計	6,893	6,721
無形固定資産	602	547
投資その他の資産		
投資有価証券	970	957
繰延税金資産	553	431
その他	42	43
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	1,566	1,432
固定資産合計	9,061	8,702
資産合計	28,573	29,940

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,734	4,427
電子記録債務	952	1,179
1年内返済予定の長期借入金	300	200
未払費用	614	644
未払法人税等	135	183
未払消費税等	11	26
製品保証引当金	57	62
役員賞与引当金	—	6
役員株式給付引当金	—	1
その他	1,572	1,553
流動負債合計	7,378	8,286
固定負債		
長期借入金	660	560
退職給付に係る負債	2,368	2,293
その他	7	7
固定負債合計	3,036	2,861
負債合計	10,414	11,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,506	2,506
資本剰余金	2,382	2,385
利益剰余金	12,933	13,280
自己株式	△40	△36
株主資本合計	17,782	18,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	129
繰延ヘッジ損益	△11	△0
為替換算調整勘定	4	231
退職給付に係る調整累計額	1	5
その他の包括利益累計額合計	89	366
非支配株主持分	285	291
純資産合計	18,158	18,792
負債純資産合計	28,573	29,940

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	9,785	15,876
売上原価	8,242	12,545
売上総利益	1,543	3,331
販売費及び一般管理費	2,074	2,612
営業利益又は営業損失(△)	△531	718
営業外収益		
受取利息及び配当金	12	11
固定資産賃貸料	33	33
為替差益	—	70
助成金収入	47	0
その他	25	8
営業外収益合計	118	124
営業外費用		
支払利息	4	3
支払手数料	1	1
固定資産賃貸費用	4	4
為替差損	10	—
持分法による投資損失	48	30
その他	1	2
営業外費用合計	71	41
経常利益又は経常損失(△)	△484	801
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△484	801
法人税、住民税及び事業税	94	247
法人税等還付税額	△23	—
法人税等調整額	△120	100
法人税等合計	△48	347
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△435	453
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	4
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△439	449

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△435	453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	34
繰延ヘッジ損益	0	10
為替換算調整勘定	△92	209
退職給付に係る調整額	5	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	19
その他の包括利益合計	△75	277
四半期包括利益	△511	730
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△503	725
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	5

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、前連結会計年度において非連結子会社でありましたPT TOYO MACHINERY AND METAL INDONESIAは重要性が増したため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。